With コロナ時代「新たな多文化共生の地域づくりセミナー」開催要領

1 趣旨：

新型コロナウイルス感染症拡大により「新しい生活様式」の導入や行政から発出される様々な要請等により、我々の生活は一変しました。そのような中、在住外国人は感染症防止に関して正しい情報に辿り着くことができない、行政の複雑な支援策の煩雑な手続き等により必要とする支援を受けられないなど、コロナ禍の中でより厳しい困難を強いられるケースが散見されます。

一方、外国人に無償で宿や弁当を提供するゲストハウスの外国人経営者がフードバンクを開設し、留学生や日本語学校の学生に提供するなど外国人への生活支援に取り組む団体が表れ、地域での助け合いの事例も見られるようになりました。

With コロナ時代において、誰もが暮らしやすい持続可能な地域を創出する「新たな多文化共生の地域づくり」に必要とされることはどのようなことなのか。本セミナーでは、With コロナ時代における「これからの多文化共生の在り方」について考える機会を持ちます。

2 実施日時：11月18日（水）14:00~16:30

3 実施場所：ウェブ会議システム（ZOOM）

4 対象者：

受講対象者は、別紙「オンラインセミナーを受講する環境について」を確認し自身で受講環境を整えることを前提とし、次の項目に該当する方を対象とします。

- (1) 住民サービスや国際交流施策等に携わる自治体職員
- (2) 外国人を受入れている企業や学校関係者
- (3) その他、趣旨に賛同する一般の方

5 募集定員：40名程度

6 受講料：無料

7 募集期間：2020年9月1日（火）～ 10月25日（日）

- (1) 申込みは財団 HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)または QR コードから行うことができます。
- (2) 参加は応募先着順とし、定員に達し次第、募集を締切ます。予めご了承下さい。

8 講師：（一財）ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏

阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援活動を機に「多文化共生センター」を設立。総務省が2006年3月に発表した「多文化共生推進プラン」の策定に携わるなど、地域における多文化共生の推進に長年関わる。2007年に「ダイバーシティ研究所」を設立し、人の多様性に配慮のある地域づくりに広く取り組んでいる。大阪大学客員准教授、明治大学大学院兼任講師、復興庁復興推進参与（非常勤）

9. 当日のスケジュール：

- 14:00 開会
- 14:00～14:30 **新型コロナウイルス感染症禍と外国人の生活相談—相談事例を基に—**
(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課長 根来 全功
- 14:40～16:15 **With コロナ「新たな多文化共生の地域づくり」に向けて**
(一財) ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎 氏
- 16:15～16:30 **質疑応答**
- 16:30 閉会

10. 個人情報の使用に関する同意のお願い：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において、事業に関する広報活動を広く行っています。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆様の肖像（写真や動画など）を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆様の肖像につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

11. お問い合わせ：

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛（かつら）・大見謝（おおみじゃ）

住所：沖縄県宜野湾市伊佐 4 丁目 2 番 16 号

電話：098-942-9215 E-mail: kokusai@oihf.or.jp HP: <https://kokusai@oihf.or.jp>